

| 授業科目名 | 授業形態 | 単位数 | 担当教員名 |
|---|------|-----|-------|
| 子どもの保健 | 講義 | 2単位 | 黒瀬久美子 |
| 記載不要 | | | |
| <p>【授業のテーマ及び到達目標】</p> <p>子どもの命を守る(養護)及び子ども自身が命を守る力をつける(教育)を目的に以下の目標達成を目指す。</p> <p>① 子どもの位置付けと子どもの発育の意味及び健康を理解し、説明できる。</p> <p>② 子どもの病気(特に感染症)について理解し、説明することができる。</p> <p>③ 子どもの病気の予防方法及び適切な対応について理解し、説明できる。</p> | | | |
| <p>【授業の概要】</p> <p>人間の発達段階に「なぜ子ども期があるのか」について学ぶと共に、子どもの命を守り、人と共に生きる力を育む上で基本的な知識と行動を身につけていく。</p> <p>キーワード:みて・きいて・ふれて・感じて・伝える</p> | | | |
| <p>【全体の授業計画・内容】</p> | | | |
| <p>① 人のライフサイクルと健康のとらえ方と考え方</p> <p>〔事後学習〕 自分自身のライフサイクルを完成させる[1.0 時間]</p> | | | |
| <p>② 子どもの健康と保健の指標</p> <p>〔事前学習〕テキストを熟読し用語を理解する[1.0 時間]</p> <p>〔事後学習〕 年齢区分と呼び方を整理しまとめる[1.0 時間]</p> | | | |
| <p>③ 子ども期前半の成長発達の意義</p> <p>〔事前学習〕テキストを熟読し用語を理解する[1.0 時間]</p> <p>〔事後学習〕 社会的健康の基盤となる生活習慣についてまとめる[1.0 時間]</p> | | | |
| <p>④ 子ども期後半の成長発達の意義</p> <p>〔事前学習〕テキストを熟読し用語を理解する[1.0 時間]</p> <p>〔事後学習〕 二次性徴の意義をまとめる[1.0 時間]</p> | | | |
| <p>⑤ 身体発達と評価</p> <p>〔事前学習〕テキストを熟読し用語を理解する[0.5 時間]</p> <p>〔事後学習〕 年齢別の身体発育をまとめる[1.5 時間]</p> | | | |
| <p>⑥ 生理機能の発達と評価</p> <p>〔事前学習〕テキストを熟読し用語を理解する[1.0 時間]</p> <p>〔事後学習〕 子ども期前半の生活習慣と関連させながら、発達段階をまとめる[1.0 時間]</p> | | | |
| <p>⑦ 脳神経系・運動機能の発達と評価</p> <p>〔事前学習〕テキストを熟読し用語を理解する[1.0 時間]</p> <p>〔事後学習〕 粗大運動と微細運動を配布資料と関連させながらまとめる[1.0 時間]</p> | | | |
| <p>⑧ 異変に気づき、問題の所在を知る</p> <p>〔事前学習〕テキストを熟読し用語を理解する[1.0 時間]</p> <p>〔事後学習〕 配布資料及び事例を理解した上で、伝わる話し方をまとめる[1.0 時間]</p> | | | |
| <p>⑨ 地域における保健活動と虐待防止</p> <p>〔事前学習〕テキストを熟読し用語を理解する[0.5 時間]</p> | | | |

【事後学習】テキストを読み「私にできること」をテーマにレポートを仕上げる[1.0 時間]

⑩ 子どもの病気の特徴

【事前学習】テキストを熟読し用語を理解する[1.0 時間]

【事後学習】子どもの症状をみるポイントをまとめる[1.0 時間]

⑪ 子どもの病気(1)呼吸器疾患

【事前学習】テキストを熟読し用語を理解する[0.5 時間]

【事後学習】感染症一覧表に授業内容を整理しまとめる[2.0 時間]

⑫ 子どもの病気(2)消化器・皮膚・口腔・眼・耳・鼻の疾患

【事前学習】テキストを熟読し用語を理解する[0.5 時間]

【事後学習】感染症一覧表に授業内容を整理しまとめる[2.0 時間]

⑬ 子どもの病気の予防方法(1)予防接種の目的・種類・対象・間隔

【事前学習】テキストを熟読し用語を理解する[0.5 時間]

【事後学習】感染症一覧表に授業内容を整理しまとめる[2.0 時間]

⑭ 子どもの病気の予防方法(2)感染症の予防法・登園の目安と対応

【事前学習】テキストを熟読し用語を理解する[0.5 時間]

【事後学習】感染症一覧表に授業内容を整理しまとめる[2.0 時間]

⑮ 試験及びまとめ

【事前学習】気づきと学びをまとめる[1.0 時間]

【学習のあり方】

テキストは毎回授業時に持参し、配布資料はしっかり整理しておくこと。

常日頃から子どもに関心を持ち、観察する習慣をつけると共に、自分の行為が子どもの命を脅かすことにつながっていないかを検証すること。

【成績評価】

筆記試験(70%) 提出物・学習シート及び授業に対する意欲・態度(30%)にて評価する。

授業中の私語などの迷惑行為は減点対象とする。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

授業の振り返りと枠内にポイントを記載するトレーニングのために授業終了後学習シートを毎回提出、内容確認後次回に返却する。(必要に応じてコメントを入れる。質問・疑問は授業時に解説する)

【テキスト】

1. 高田正子編著「心とからだを育む子どもの保健Ⅰ」保育出版
2. 黒瀬久美子・清隆著「うちの子って変!?子どものつぶやきから始まる親子性教育」明治図書

【参考文献】

「保育所における感染症対策ガイドライン」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

【実務経験の有無】

保健所・保健センターの保健師として、地域で保・幼・学校との連携だけでなく、他職種と共に子育て支援に関わってきた経験を活かし、現場での実践に結び付けていける学びを提供する。